

「ふるさと福島塾」の歩み

年 月	内 容	塾 長
平成 2 年 6 月	<p>21 世紀を展望した農業農村づくりと豊で潤いのある社会の実現に資するため、農業・農村地域における人材の育成、組織づくり等を支援する組織として発足。</p> <p style="padding-left: 2em;">構成団体 2 5</p> <p style="padding-left: 2em;">塾の所在地：福島市杉妻町 2 - 1 6</p> <p style="padding-left: 2em;">有識者による「10 人委員会」</p> <p style="padding-left: 2em;">学識者や実践活動家からなるアドバイザーを設置</p>	<p>県副知事 奥山健一 (平 2～3 年度)</p>
平成 3 年 6 月	<p>塾の業務に「農業農村活性化農業構造改善事業の計画策定に関すること」を追加。同事業の計画策定に関して意見具申の役割が追加。</p>	
平成 4 年 5 月	<p>塾長に「福島県農業構造改善対策協議会長」が就任。</p> <p style="padding-left: 2em;">塾の所在地：福島市中町 8 - 2</p>	<p>県農業構造改善 対策協議会長 佐藤長雄 (平 4～7 年度)</p>
平成 7 年 5 月	<p>塾の業務に、経営体の育成・強化ならびに地域連携システムの構築等を積極的に支援することを追加。</p>	
平成 8 年 5 月	<p>塾長に福島県農業会議会長が就任。</p> <p>副塾長に市長会常務理事、町村会常務理事、農業協同組合中央会専務理事が就任。</p>	<p>県農業会議会長 太田豊秋 (平 9～19 年度)</p>
平成 12 年 6 月	<p>「食料・農業・農村基本法」の施行に伴い、経営構造対策が新たにスタートし、「経営構造対策推進事業」と連動した塾事業を展開。</p>	<p>職務代理 渡辺 恂 (平 8 年度)</p> <p>大内忠夫 (平 15 年度)</p>
平成 17 年 6 月	<p>塾の事業を「強い農業づくり交付金」と連動させる。</p>	
平成 20 年 6 月	<p>塾予算の縮減等に伴い、塾の目的、事業を見直す。</p> <p style="padding-left: 2em;">推進会議・運営会議の構成員を変更するとともに、顧問、10 人委員会、指導員を廃止。</p> <p style="padding-left: 2em;">事業執行検討部会を事業執行検討委員会に変更。</p> <p style="padding-left: 2em;">塾長に福島県農業会議事務局長、副塾長に福島県農業協同組合中央会農業対策部長が就任。</p>	<p>県農業会議事務局長 田中 亮 (平 20 年度～)</p> <p>河嶋 耕 (平 25 年度～)</p>